

日時 令和5年2月3日(金) 10:00～

場所 竹田市役所 本庁舎3階会議室

次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 概要説明
 - i 経過報告 (P 3～P 5)
 - ii 計画説明【基本構想】【前期基本計画】
 - iii 今後のスケジュール
- 4 協議事項
 - i 第2次竹田市総合計画(素案)
- 5 その他
- 6 閉会

会議資料

資料① 第2次竹田市総合計画【基本構想・前期基本計画】(素案)

広報たけた 1月号 8頁

今後5年間の中期財政収支試算

本市の今後5年間の財政収支の試算を作成したのでお知らせします。

財政収支の試算は、現在の財政状況を踏まえ現時点で見込まれる地方財政制度や人口推計から一定条件のもとで将来的な収入見込みと支出見込みを推計したもので、健全な財政運営の指針となるものです。本市の財政は、地方交付税制度の動向や税制改革等により推計は変動していき

ます。主な原因として歳入については、人口減少に伴う市税や歳入の4割を占める地方交付税の減等により、減少する推計です。歳出については、これまでの大型事業に伴う借入金返済や市民サービスに直結した施設整備費(新環境センター整備負担金や火葬場整備など)の増加により、大幅な減少は見込めません。

約15億6千万円の赤字

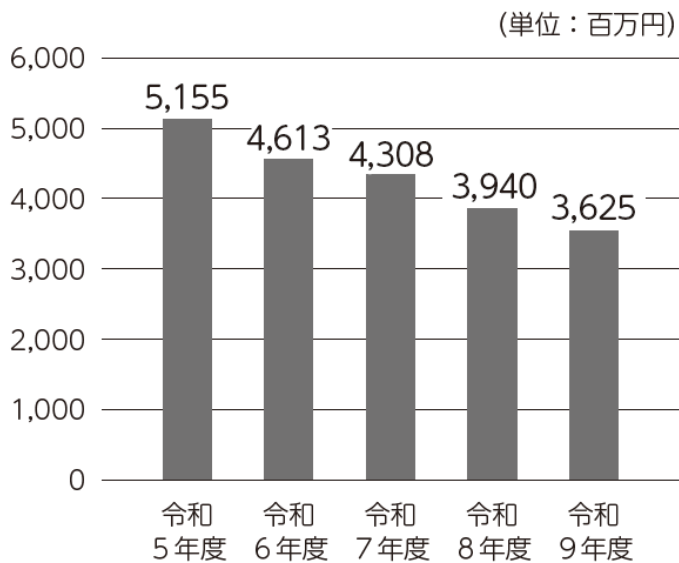
今後5年間の竹田市財政収支の見通しは、約15億6千万円の赤字となっています。

令和5年度以降、収支が赤字の場合は貯金(財政調整用基金)を取り崩して対応していくことになります。

今後5年間の財政収支の見通し (単位：百万円)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
歳入	18,381	18,225	17,904	17,259	17,181
歳出	18,383	18,774	18,217	17,633	17,502
収支	△2	△549	△313	△374	△321

財政調整用基金残高の見通し



本市では、厳しい財政状況にあってもまちづくりを支える財政基盤を確保できるよう、市民の皆さんのご協力をいただきながら歳出を歳入に見合ったものとする事で、健全な財政運営を行ってまいります。

第2次竹田市総合計画の経過について

素案	年月日	議会	行政	市民	内容	備考
	R3.6.4	○			令和3年竹田市議会 第2回定例会	土居市長が所信表明で総合計画を策定する旨言及
	R3.7.28	○			令和3年竹田市議会 第4回臨時会	総合計画策定に係る予算可決（債務負担行為設定）
	R3.8.27		○		第1回竹田市総合計画策定プロジェクト会議	策定に向けた庁内の意思統一（副市長を委員長に各課長で構成）
	R3.9.8	○			令和3年竹田市議会 第3回定例会	一般質問の中で策定の作業状況を説明
	R3.9.28		○		公募型プロポーザルによるコンサル決定【株ぎょうせい】	R3.8.26公告，契約日：R3.10.1，契約期間：R3.10.2～R5.3.20
	R3.10.1			○	広報たけた10月号【第2次竹田市総合計画策定スタート】	策定の目的，イメージ図，体制図，主なスケジュールについて周知
	R3.10.7		○		第1回竹田市総合計画策定ワーキングチーム	49名（部会：総務財政，保健福祉，生活環境，産業建設，教育）
	R3.11.16		○		コンサルタント【株ぎょうせい】市内現地視察	市内一円を満遍なく回り，多くの公共施設等も確認
	R3.11.16		○		第2回竹田市総合計画策定ワーキングチーム	策定手法概要，SWOT分析手法概要，市民アンケート，etc.
	R3.11.17		○		竹田市長トップインタビュー実施	現状と課題，市政運営の理念や考え方，今後4年間のToDo，その他
P24	R3.12.8			○	まちづくり市民アンケート調査実施【紙媒体，広報たけた】	対象：18歳以上の市民2,000人，回収率：41%（813件），2/1✕
	R3.12.13			○	まちづくり高校生アンケート調査実施【Web，GIGAスクール】	対象：市内3校の高校1年～3年生，回答数：504件，1/21✕
	R3.12.13			○	まちづくり中学生アンケート調査実施【Web，GIGAスクール】	対象：市内6校の中学1年～3年生，回答数：355件，1/16✕
	R3.12.27			○	竹田市総合計画審議会の市民委員募集【HP，広報たけた】	対象：18歳以上の市民，人数：若干名，募集期間：R4.1.4～1.31
	R4.1.17		○		第1次竹田市総合計画の事業評価 に係る各課ヒアリング	対象：27部署，調査項目：257項目，実施期間：R4.1.17～1.19
	R4.2.1	○	○	○	広報たけた2月号	まちづくり市民アンケート調査【速報】
	R4.3.2	○			令和4年竹田市議会 第1回定例会	全員協議会後の場で進捗状況について経過報告
	R4.3.22		○		第1回若手職員研修会	『Society5.0/自治体DX』ビッグデータ分析としてブログ解析
	R4.3.22			○	第1回竹田市総合計画審議会	委嘱状交付、 第1次の評価 、 市民アンケート 、 国調人口等 etc.

第2次竹田市総合計画の経過について

素案

P25

P31

年月日	議会	行政	市民	内容	備考
R4.4.1	○	○	○	広報たけた4月号	第1回審議会、まちづくりアンケート調査結果について
R4.5.23	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	城原小体育館【宮城・城原】
R4.5.24		○		第2回若手職員研修会	AI、IoT、ビッグデータ分析に関する他の自治体における取組み状況
R4.5.24	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	祖峰小体育館【入田・姫岳・宮砥】
R4.5.25	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	荻支所多目的ホール【荻】
R4.5.26	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	竹田市総合社会福祉センター【竹田・岡本・明治・豊岡】
R4.5.27		○		第3回竹田市総合計画策定ワーキングチーム	アンケート結果 、 第1次達成度調査 、 分野別ワークショップ
R4.5.27		○		第2回竹田市総合計画策定プロジェクト会議	市民ワークショップ 、次期計画のレイアウト、第2回審議会について
R4.5.27	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	直入支所大会議室【直入】
R4.5.28	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	久住公民館機能回復訓練室【久住】
R4.5.29	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	竹田市総合社会福祉センター【※市内全域】
R4.5.29	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	グランツたけたキナーレ【玉来・松本・菅生】
R4.6.9		○	○	第2回竹田市総合計画審議会	市民WS【概要】、分野別WS、次期レイアウト、総合管理計画etc.
R4.6.24	○			令和4年竹田市議会 第2回定例会	全員協議会後の場で進捗状況について経過報告
R4.6.29		○		第3回若手職員研修会（最終回）	5つのグループが管理職全員に対して発表
R4.7.1	○	○	○	広報たけた7月号	ワークショップの概要 、 まちづくり市民アンケート調査に対する回答
R4.7.13		○		第4回竹田市総合計画策定ワーキングチーム	市民ワークショップ 、前期基本計画シートの作成説明等
R4.8.22		○		前期基本計画のヒアリング実施（R4.8.22～8.24）	前期基本計画（令和5～9年度）策定のため各課にヒアリング

第 2 次竹田市総合計画の経過について

素案

年月日	議会	行政	市民	内容	備考
R4.10.21	○			竹田市議会 総務委員会勉強会	
R4.12.21			○	竹田市自治会連合会研修会	竹田市総合計画の経過について【アンケート,ワークショップ etc.】
R5.1.27		○		竹田市総合計画策定プロジェクト会議	
R5.1.27		○		竹田市総合計画序議	

たけたの未来を考える集い (市民ワークショップ)の結果【概要】



概要 2

分野別

農林業 3

商業、観光 . . . 4

就労環境 5

医療、福祉 . . . 6

交通 7

住まい、生活 . . . 8

コミュニティ . . . 9

第2次竹田市総合計画 (素案)

基本構想・前期基本計画

2 計画の期間と構成

第2次竹田市総合計画は、10年間の基本構想と前期5年、後期5年の基本計画で構成され、3か年実施計画によりローリング方式（毎年見直し）を用いて中期的な視点に基づき、各施策・事業の効率的・効果的な実施に向けた進行管理を行います。

①基本構想（10年）

市民・事業者・行政が共有する基本的な構想で、まちづくりの基本理念や目指すべきまちの将来像などを示します。

②基本計画（前期5年・後期5年）

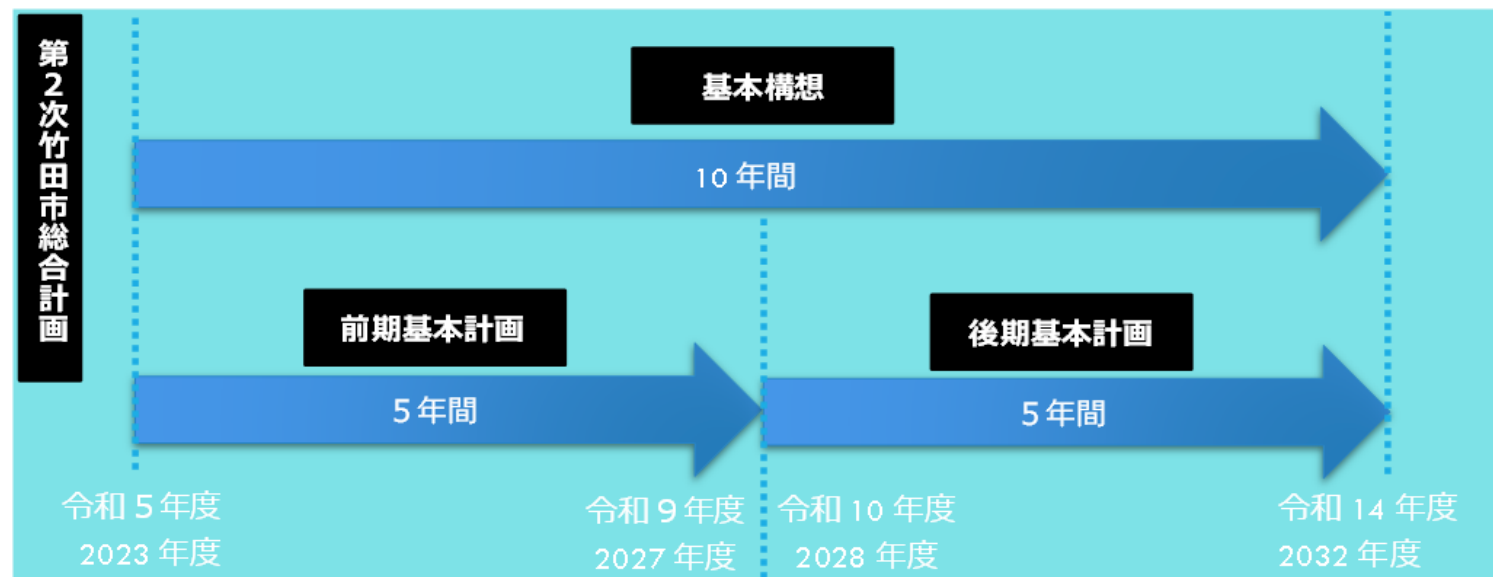
基本構想に掲げるまちの将来像を実現するため、行政の経営計画として分野ごとに施策を示します。

③実施計画（前期5年・後期5年）

基本計画で示した施策を事業として実施するために、事業の優先順位や財政状況等に基づいて、具体的に各種計画の調整を図る計画です。3年間を期間とするローリング方式で毎年策定します。

④リーディング施策

まち・ひと・しごと創生法の目的や基本理念を踏まえつつ、基本計画の重点課題を推進するため、人口減少対策を中心としたリーディング施策を位置付け、将来像の実現を目指します。リーディング施策についても、基本計画と同期間で見直していくものとしします。



1 まちづくりの基本理念

本格的な少子高齢社会の到来により、人々の暮らしに様々な影響を及ぼすことが予想される今こそ、市民一人ひとりが笑顔で過ごせる安全で安心なまちづくりが求められています。

豊かな自然環境のもと、都市基盤が整備され、快適に暮らせる安全なまち、子どもたちが元気に学び・遊び、医療や福祉が充実していて、いつまでも健康でいられる安心のまち。このような、まちづくりを実現するためには、現在の延長線上にある施策展開では難しいことから、今までのやり方を大きく変え、新たな発想で新しいやり方を生み出し、『**チャンス**を逃さず**果敢に挑戦**』していきます。

2 将来像

まちづくりの基本理念に基づき、市民・事業者・行政がお互いの強みやコミュニティの絆を活かした協働のまちづくりを進めることで、本市の魅力を更に伸ばしていくことが必要です。

また、医療・福祉、都市基盤等を整え、安全・安心なまち、産業が元気で多様な働き方が選択できるまち、多くの人で賑わうまちを創造するため、活力と希望に溢れた10年後の将来像を次のように掲げます。

ひとが輝き 未来へつなぐ いのち溢れるまち ^{TAKETA}『竹田』

5 まちづくりの柱

将来像を実現するために6つの「まちづくりの柱」を定め、デジタルを活用しながら「あらがう政策」と「あわせていく政策」の2本柱で、総合的かつ戦略的に多様な幸せが実感できるまちづくりを進めます。

① 働く人がいきいきと輝く 活力のまち（産業の分野）

農林畜産業・商業・工業の振興を図るとともに、企業誘致を推進することで、元気で活力あるまちを目指します。また、市内の観光資源の有機的な活用を進め、多くの人々が市外から訪れる賑わいのまちを目指します。

② 安心して年齢を重ね生活できる 健康長寿のまち（健康福祉の分野）

医療や福祉、介護などの連携をさらに進めるとともに、幅広い世代で健康づくりに取り組み、誰もが住み慣れた地域で、いつまでも心も身体も健康で最期まで自分らしくいのちを輝かせる健康長寿のまちを目指します。

③ 子どもも大人も共に成長する 育みのまち（子育て・教育・文化の分野）

子育てしやすい環境整備や乳幼児期、小・中学校における教育の充実を図るとともに、子どもたちが地域の中で健やかに成長する環境整備を推進します。また、人生のあらゆる場面で大人が学習できる機会を創出していき、歴史・文化の薫る育みのまちを目指します。

④ 誰もが快適に生活できる 安全・安心のまち（生活基盤の分野）

計画的な土地利用や各種インフラの整備と適正な維持管理を進めるとともに、防犯や交通安全対策、防災・減災対策を充実することで、誰もが快適に暮らせる安全・安心なまちを目指します。

⑤ 自然とともに暮らしを愉しむ エコのまち（環境の分野）

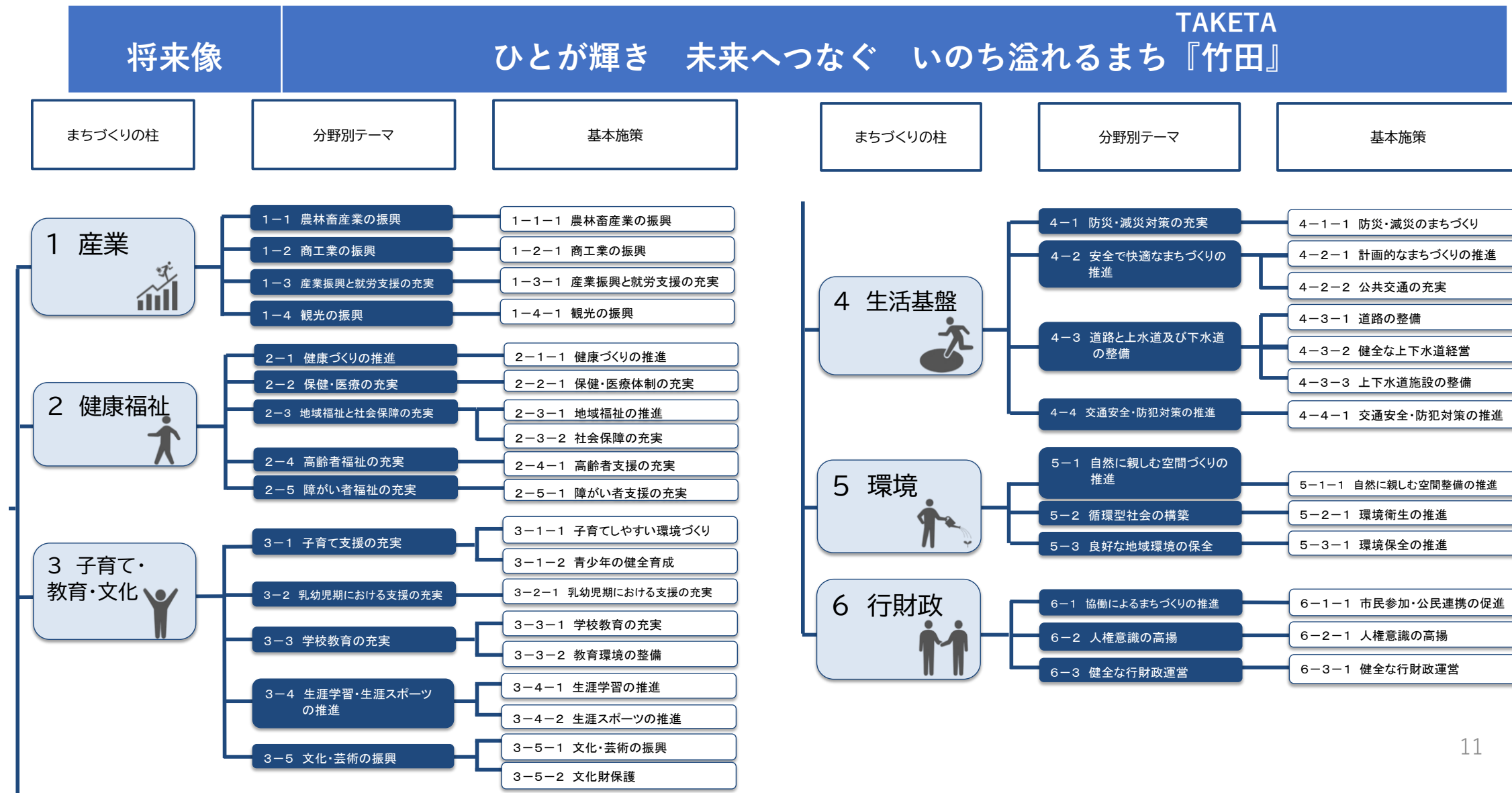
豊かな自然環境や美しい自然景観の保全と活用により、誰もが癒しを感じられる自然と調和したまちを目指します。

また、省エネや創エネ、蓄エネ等の取り組みや、ごみの削減とリサイクルを進めるとともに、地域に賦存する資源を活用した再生可能エネルギーの創出を推進することで、資源循環型の環境にやさしいエコのまちを目指します。

⑥ 堅実財政で未来へ投資する 持続可能なまち（行財政の分野）

地域活動や地域における人づくりを支援するとともに、地域の特徴を活かしたまちづくりを推進し、人と地域がつながる支え合いのまちを目指します。また、複雑化・専門化する行政需要に適切に対応するため、堅実な財政基盤を確立するとともに、電子申請などの自治体DXを加速化させる等、未来へ投資する持続可能な行財政運営を進めるまちを目指します。

4 前期基本計画の施策体系図



お手元の資料

施策タイトル

施策ごとの目標

現況と課題

第3章 前期基本計画

5 前期基本計画

(1) 働く人がいきいきと輝く活力のまち

1-1 農林産業の振興

目指すべきまちの姿

元気で魅力ある農山村、知恵を出し汗をかいて儲かる農林畜産産業の実現

1-1-1 農林畜産産業の振興(その1)

【現況と課題】

① 時代に対応する新たな農林業のしくみづくり

- 本市の産品を生産する基盤として、自然の特性を生かしながら、土地の利用効率やこれからの時代に対応できる合理的な生産構造を構築する必要があります。
- また、経営の安定とともに、個々の農家の実情に応じた生産体制や労働力を充実していく必要があります。

② 消費の多様化に対応した魅力ある商品づくり

- 本市の地形等を生かした産地づくりを行いながら、安全で市場や消費者ニーズに的確に応え、高品質栽培・出荷を心がけていく必要があります。
- また、他産地と競合しない竹田ブランドとしての新たな作目導入により、産地化を推進する必要があります。

③ 地域総合力の発揮による農山村の活力づくり

- 産業間や地域間の連携により、付加価値の高い新しい地域ビジネスを創造し、市場拡大をめざしていく必要があります。
- また、「食・農・教育からのむらおこし」を原点として家庭、教育現場、地域等を中心に「産地地消」「食育」を一体的に推進する必要があります。

④ いのちと暮らしを支えるやさしい環境づくり

- 地域内住民と地域外住民の協働による、水田・畑地・森林の環境保全を行うとともに快適で災害に強い生活環境をつくる必要があります。
- また、名水・名湯・高原や田園風景を本市の重要な地域資源として再認識して、維持・保全に努める必要があります。

34

5 前期基本計画

【取組】

① 時代に対応する新たな農林業のしくみづくり

- 土地利型農業を担う効率的かつ安定的な担い手の育成と、園芸・畜産の導入など地域特性にあった効率的な水田農業を展開します。
- 大蘇ダムの畑かん用水利用により、生産性の向上や計画的な出荷、新しい品目のブランド化等、高冷地を生かした夏秋野菜産地としての地位の確立と農業所得の向上を図ることで、農業後継者の確保を目指します。
- 農業委員会、農業協同組合、土地改良区、森林組合等関係団体との連携を密にして、農林業や農村の活性化に向けた事業展開を行います。

② 消費の多様化に対応した魅力ある商品づくり

- 生産から流通、加工の各段階での品質及び安全管理を徹底するとともに安全・安心に対応した生産の拡大を図ります。
- 競争力のある売れる商品(もの)づくりを進め、低コストで効率的な生産体制を整備しながら、特色ある産地の育成を図り、消費者の需要に合った生産を進めます。
- 本市ならではの農産品が、他産地の商品との違いが認識でき、評価され、消費者に選んでもらえるようブランド化を図ります。

③ 地域総合力の発揮による農山村の活力づくり

- 農林業が活用してきた資源、人材、ネットワーク等を食品産業、住宅産業、観光業等との連携のもとで活用することで新たな付加価値を生み出し、地域の総合力が発揮できる新しいビジネスの展開を図ります。
- 農山村の地域資源を発掘し、その魅力を積極的に発信するとともに、交流基盤の整備により都市住民との交流を促し、農山村の活性化を図ります。

④ いのちと暮らしを支えるやさしい環境づくり

- 人の心が通い合い、快適に過ごせる豊かな農山村を実現するため、安全・安心な農山村の環境整備を地域住民とともに進めます。また、イノシシやシカによる食害が多く発生しており、農作物への被害を軽減するために、効果的な予防と捕獲を行います。
- 地域内住民と地域外住民の協働により、耕作放棄地の発生防止や農業用水利施設の維持・保全などを推進します。
- 気候変動が著しく、災害が多発する中で、阿蘇・くじゅうの活火山の降灰等も含めた多様な災害に対応し、安定した営農活動が可能となる生産基盤の整備を進めます。

【達成目標】

指標名	単位	令和3年度(実績)	令和9年度(目標)	目標指標の測定あるいは取得の方法
① 集落営農組織数	組織	58	75	
② 集落営農組織数	千円	1,937	999,500	
③ アンテナショップの販売額	千円	769,029	1,100,000	
④ 鳥獣による被害額	千円	19,142	22,000	

関連する個別計画

- 第2次竹田市農林業振興計画
- 竹田市農業振興地域整備計画
- 竹田市鳥獣被害防止計画
- 農地等の利用の最適化の推進に関する指針

35

今後5年間、何を行うのかを示しています。(番号は現況と課題に対応しています)

各取組の目標値(番号は取組の番号と対応しています)

当該施策に関する個別計画の一覧です。

5 前期基本計画

(1) 働く人がいきいきと輝く 活力のまち

1-1 農林畜産業の振興

1-1-1 農林畜産業の振興 (その1)

目指すべきまちの姿

元気で魅力ある農山村、知恵を出し、汗をかいて儲かる農林畜産業の実現

現況と課題

取組

達成目標

- ① 時代に対応する新たな農林業のしくみづくり
- ② 消費の多様化に対応した魅力ある商品づくり
- ③ 地域総合力の発揮による農山村の活力づくり
- ④ いのちと暮らしを支えるやさしい環境づくり

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	集落営農組織数	組織	58	75	
②	夏秋トマト	千円	918,937	999,500	
③	アンテナショップの 販売額	千円	769,029	1,100,000	
④	鳥獣による被害額	千円	22,222	22,000	

【備考】

①委員からの意見

もともと竹田にいて、これからも竹田に住もうとする市民、特に若者にも目を向けていただきたい。例えば農業で言えば、親元就農等の支援をもっと広げていけると良い。但し、手厚くすればするだけ良い、というわけではないと思うので、バランスの良いところで進めていければと考える。

5 前期基本計画

(1) 働く人がいきいきと輝く 活力のまち

1-1 農林畜産業の振興

1-1-1 農林畜産業の振興 (その2)

目指すべきまちの姿

元気で魅力ある農山村、知恵を出し、汗をかいて儲かる農林畜産業の実現

現況と課題

取組

- ⑤ 生産基盤の整備
- ⑥ 畜産業の産地拡大、収益力の強化

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
⑤ 圃場整備済み面積	ha	3,192	3,430	
⑥ 1戸あたりの飼養 頭数 (牛)	頭	17.7	23.0	12月末の頭数調査

【備考】

⑥委員からの意見

竹田市には地域おこし協力隊の制度があり、任期満了後に畜産農家になった方が数名いる。彼らは定住している。横のつながりが出来ると、市外に出にくくなる。こうしたつながりを大切に出来るよう、行政のサポートは重要であると考えており、仕組みがあることで我々の組織としてもサポートしやすい。スタート時のみならず、開始後のサポートにも目を向けていただけると良い。

5 前期基本計画

(1) 働く人がいきいきと輝く 活力のまち

1-2 商工業の振興

1-2-1 商工業の振興

【備考】

目指すべきまちの姿

商工業の持続可能な経済成長が促進されているまち

現況と課題

取組

- ① 経営基盤強化・創業への支援
- ② 魅力あふれる商店街の形成
- ③ まちなかでの賑わいの創出
- ④ 商工会議所、商工会への運営支援

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
① 創業等支援補助金 交付件数	件	4	5	(R5～R9 の累計)
② 商店街振興組合新 規組合員数	人	3	5	(R5～R9 の累計)
③ 空き店舗活用件数	件	2	5	(R5～R9 の累計)
④ 商工会議所・商工会 新規会員数	人	32 (会議所 21、商工会 11)	40	(R5～R9 の累計)

5 前期基本計画

(1) 働く人がいきいきと輝く 活力のまち

1-3 産業振興と就労支援の充実

1-3-1 産業振興と就労支援の充実 (その1)

目指すべきまちの姿

多様な人材が活躍できる雇用環境の充実

現況と課題

取組

- ① 企業誘致等の推進
- ② 中小企業の経営体質の強化と企業価値の向上
- ③ 産業を支える人材の確保
- ④ 働きやすい環境づくり

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
① 企業誘致件数	社	3	5	(R5～R9の累計)
② 先端設備等導入計画の認定件数	件	3	5	(R5～R9の累計)
③ 高校新卒者の市内就職者数	人	5	6	(R5～R9の累計)
④ (県)しごと子育てサポート企業登録企業件数	社	1	5	(R5～R9の累計)

【備考】

③委員からの意見

仕事柄、外国人労働者と一緒に働いている。彼らは竹田市の住民票を持っている。今後も続く人口減少の中で、こうした外国人労働者の力を活用し、そして一緒に参加できるようなサービス・仕組みが構築されると良いと考える。

働き手不足によって経営難に陥る企業が増えている。雇用の確保の観点から、外国人技能実習生の受け入れに取り組む予定である。

一度竹田を出た人材が、戻って来られる仕組みがやはり大切であると考えている。

5 前期基本計画

(1) 働く人がいきいきと輝く 活力のまち

1-3 産業振興と就労支援の充実

1-3-1 産業振興と就労支援の充実 (その2)

目指すべきまちの姿

多様な人材が活躍できる雇用環境の充実

現況と課題

取組

- ⑤ 空き家の確保及び情報発信
- ⑥ 若者及び子育て世代の移住
- ⑦ 地域と連携した移住の推進

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
⑤	空き家バンクの登録数	件	26	100	(R5~R9の累計)
⑥	若者・子育て世帯移住者数	人	27	100	(R5~R9の累計)
⑦	移住連携地域	件	0	3	(R5~R9の累計)

【備考】

⑦委員からの意見

竹田に住もうとする本人がどの程度覚悟と計画を持っているかが最も重要だと感じている。最終的に残るかどうかは本人次第。覚悟を持った人をサポートできる仕組みを構築出来ると良い。地域に溶け込むことも重要であると伝えなければならない。

5 前期基本計画

(1) 働く人がいきいきと輝く 活力のまち

1-4 観光の振興

1-4-1 観光の振興

【備考】

目指すべきまちの姿

国内外の来訪者が安心して回遊できるまち

現況と課題

取組

- ① 地域資源を活用した観光振興
- ② 関係人口・交流人口の増加
- ③ 地域団体・イベントの支援と組織運営の健全化
- ④ 国際交流の促進

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
① 観光入込客数総数	人	2,250,000	3,000,000	観光入込客数調査
② インバウンド来訪者数	人	485	30,000	観光統計調査
③ ワークेशन施設利用数	人	237	300	ワークेशन施設利用者数 (Camp、各支所利用者)
④ 各種国際交流講座参加者数	人	50	100	

5 前期基本計画

(2) 安心して年齢を重ね生活できる 健康長寿のまち

2-1 健康づくりの推進

2-1-1 健康づくりの推進

目指すべきまちの姿

誰もが安心して健康的に生活できる地域

【備考】

現況と課題

- ① 健康づくり事業による予防活動の充実
- ② 生活習慣病やフレイル予防の推進
- ③ 健康づくり組織の育成・支援
- ④ 健康づくりのための環境整備

取組

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	お達者年齢	歳	(男) 80.01 (女) 84.71	(男)80.97 (女)86.57	大分県 (H28~R2 平均)
②	声かけ件数	件	38,648	50,000	愛育保健推進員活動報告
③	地域での健康づくり事業実施件数	件	147 (R3)	200	愛育保健推進員活動報告
④	健診受診率	%	47.0	60.0	竹田市
⑤	竹田市健康づくり推進協議会の開催回数	回	2	2	竹田市

5 前期基本計画

(2) 安心して年齢を重ね生活できる 健康長寿のまち

2-2 保健・医療の充実

2-2-1 保健・医療体制の充実

【備考】

目指すべきまちの姿

誰もが安定して受けられる医療体制の整備

現況と課題

取組

- ① 医療体制の充実
- ② 初期救急医療の充実
- ③ 二次救急医療の充実
- ④ 健康危機管理の充実

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	かかりつけ医がいる人の割合	%	73.0	80.0	アンケート調査
②	休日・夜間の救急医療に安心できる人	%	53.0(H28)	60.0	アンケート調査

5 前期基本計画

(2) 安心して年齢を重ね生活できる 健康長寿のまち

2-3 地域福祉と社会保障の充実

2-3-1 地域福祉の推進

【備考】

目指すべきまちの姿

誰もが自分らしく、いきいきと暮らし、共に支え合うまち

現況と課題

- ① 地域住民が主体的に支え合う、人づくり・仕組みづくり
- ② 相談しやすく適切な福祉サービスが受けられる地域づくり
- ③ 誰もがいきいきと安心・安全に暮らせる地域づくり

取組

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定あるいは取得の方法
① 職場や地域で防災訓練に参加している人の割合	%	36.4	50.0	第3次竹田市地域福祉計画 (アンケート調査)
② 高齢者や障がいのある人にも暮らしやすい地域であると感じる人の割合	%	22.0	50.0	第3次竹田市地域福祉計画 (アンケート調査)
③ 職場や地域で防災訓練に参加している人の割合	%	36.4	50.0	第3次竹田市地域福祉計画 (アンケート調査)

5 前期基本計画

(2) 安心して年齢を重ね生活できる 健康長寿のまち

2-3 地域福祉と社会保障の充実

2-3-2 社会保障の充実

【備考】

目指すべきまちの姿

誰もが自分らしく、いきいきと暮らし、共に支え合うまち

現況と課題

① 生活保護制度・生活困窮者自立支援制度の充実

取組

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	生活困窮者自立支 援会議の開催回数	回	12	12	

5 前期基本計画

(2) 安心して年齢を重ね生活できる 健康長寿のまち

2-4 高齢者福祉の充実

2-4-1 高齢者支援の充実

目指すべきまちの姿

やすらぎと安心に満ちた支えあうくらしづくり

【備考】

現況と課題

取組

- ① 介護予防・健康づくりの推進（健康寿命の延伸）
- ② 在宅医療・介護連携の推進
- ③ 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進
- ④ 認知症施策の総合的な推進
- ⑤ 持続可能な保険運営・介護人材の確保

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
① 通いの場に通っている 65歳以上の高齢者の割合	%	24.2	30.0	実績より
② ①入院時連絡率 ②退院時連絡率	%	R1 実績①88.9 R1 実績②86.1	①93.0 ②90.0	入退院時情報共有ルール運用状況調査
③ 介護人材確保のためのボランティアポイントの登録者数	人	110	120	実績より
④ 認知症サポーター養成講座受講者数	人	118	150	実績より
⑤ 総合業務システム又は介護ロボット・センサー等を導入した市内介護保険事業運営法人の割合	%	40	80	実績より

お手元の資料 P.56,57

5 前期基本計画

(2) 安心して年齢を重ね生活できる 健康長寿のまち

2-5 障がい者福祉の充実

2-5-1 障がい者支援の充実

目指すべきまちの姿

住み慣れた地域で暮らし続けられるまち

現況と課題

取組

- ① 障害者総合支援法に基づく福祉サービスの充実
- ② 障害者保健福祉サービスの充実
- ③ 地域における自立支援
- ④ 地域福祉拠点の整備

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
① 相談件数	件	(R3) 2,118	2,000	委託相談支援事業所実績
② 相談支援専門員数	人	(R3) 6	8	委託相談支援事業所実績
③ 一般就労移行者数	人	(R3) 1	2	委託相談支援事業所・ 指定特定相談相談員
④ 基幹相談支援センター設置数	箇所	0	1	竹田市自立支援協議会 による承認

【備考】

5 前期基本計画

(3) 子どもも大人も成長する 育みのまち

3-1 子育て支援の充実

3-1-1 子育てしやすい環境づくり

目指すべきまちの姿

子どもの育ちと子育てをみんなで支えるまち

現況と課題

取組

達成目標

- ① 地域における子育て支援の充実
- ② 子育て相談の充実
- ③ きめ細やかな対応が必要な家庭への支援の充実
- ④ 子育て世帯への経済的支援
- ⑤ 安心して、結婚・妊娠・出産ができる環境づくり

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
① 保育所待機児童数	人	0	0	
② 相談窓口の周知	回	3	5	市報・ケーブル等での周知
③ 要保護児童地域対策協議会の開催	回	12	12	
④ 医療費助成や予防接種に関する各種事業の周知	%	100	100	
⑤ 妊娠中の支援割合 (訪問・電話)	%	58.9	65.0	

【備考】

5 前期基本計画

(3) 子どもも大人も成長する 育みのまち

3-1 子育て支援の充実

3-1-2 青少年の健全育成

目指すべきまちの姿

子どもの育ちと子育てをみんなで支えるまち

【備考】

現況と課題

- ① 児童に対する学びの場の充実
- ② 青少年健全育成に関わる関係機関及び諸団体の充実

取組

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	放課後子ども教室 を開催する学校数	校	10	11	
②	放課後子ども教室 における体験教室 を開催する学校数	校	6	9	

5 前期基本計画

(3) 子どもも大人も成長する 育みのまち

3-2 乳幼児期における支援の充実

3-2-1 乳幼児期における支援の充実

目指すべきまちの姿

安心して妊娠・出産・子育てができるまち

現況と課題

取組

- ① 地域における子育て支援の充実
- ② 子育てに関する情報提供や学ぶ場の充実
- ③ 心身の健やかな発育支援
- ④ 安心して医療が受けられる体制整備

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
① この地域で子育て していきたいと思 う保護者の割合	%	(乳児) 96.7 (1.6歳) 96.5 (3歳) 94.8	97.0	乳児教室、1.6歳・3歳 児健診質問票による
② 子育てアプリ母子 モ登録者数	人	209	460	毎年4月1日現在
③ 幼児健診受診率 (1.6歳・3歳)	%	(1.6歳) 98.9 (3歳) 96.3	100.0	毎年度受診率
④ かかりつけ医がい る割合	%	88.3	100.0	乳児教室質問票

【備考】

お手元の資料 P.64,65

5 前期基本計画

(3) 子どもも大人も成長する 育みのまち

3-3 学校教育の充実

3-3-1 学校教育の充実

目指すべきまちの姿

主体的に学び、未来を創造する子どもの育成

現況と課題

取組

- ① 確かな学力の育成
- ② 豊かな心の育成
- ③ グローバル人材の育成
- ④ 特別支援教育の充実
- ⑤ 幼児教育の充実

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定あるいは 取得の方法
① 児童生徒の学力	%	97.3 (小) 100.7 (中)	100 (小) 105 (中)	全国学力・学習状況調査(文部科学省 小6・中3)で本市平均正答率 ÷ 全国平均正答率 × 100
② 主体的に学び、未来を創造する意欲を持つ児童生徒の割合(小学校)	%	73.1	80.0	全国学力・学習状況調査の下記5項目について肯定的な回答をした児童生徒の割合の平均値
③ 主体的に学び、未来を創造する意欲を持つ児童生徒の割合(中学校)	%	68.4	75.0	
④ 豊かな心の育成(小)	%	83.7	88.0	全国学力・学習状況調査の下記5項目について肯定的な回答をした児童生徒の割合の平均値
⑤ 豊かな心の育成(中)	%	81.6	85.0	

【備考】

②委員からの意見

私たちが活動するユネスコエコパークの理念は自然との共生である。現状では、校長会等でイベントを提案するが、年度の行事が決まっているために中々組み込むことが出来ない。自然との共生につながる活動を、学校教育の中に組み込むことも視野に入れていただきたい。新たな連携により、未来の兆しが見えてくる。

5 前期基本計画

(3) 子どもも大人も成長する 育みのまち

3-3 学校教育の充実

3-3-2 教育環境の整備

目指すべきまちの姿

安心して妊娠・出産・子育てができるまち

【備考】

現況と課題

取組

- ① 学校規模の適正化
- ② 安全安心な学校施設・設備の整備充実
- ③ 学校給食の充実

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	学校規模の適正化	-	-	-	-
②	安全安心な学校施設・設備の整備・充実	%	0	100	長寿命化計画の実施状況
③	魅力ある給食の提供	件	2	3	郷土料理のメニュー化 献立

5 前期基本計画

(3) 子どもも大人も成長する 育みのまち

3-4 生涯学習・生涯スポーツの推進

3-4-1 生涯学習の推進

目指すべきまちの姿

『生涯学習』からはじまる豊かな人生「つどう」「まなぶ」「むすぶ」

現況と課題

取組

- ① 施設整備等の充実
- ② 公民館分館等活動の充実
- ③ 中央公民館講座の充実
- ④ 図書館機能の充実

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定あるいは取得の方法
① 公民館分館活用検討会	回	0	2	年間の開催回数
① 公共施設予約システムによる利用申請率	%	0.0	30.0	利用申請の中で、システムを使用した申請率
③ 公民館講座の数	講座	1	5	年間の開催講座数
④ 市民一人当たりの年間貸出冊数	冊	4.2	8.0	図書館データ
④ 市民登録率	%	30.7	40.0	〃
④ 登録者(市民)一人当たりの年間貸出冊数	冊	13.7	20.0	〃

【備考】

お手元の資料 P.70,71

5 前期基本計画

(3) 子どもも大人も成長する 育みのまち

3-4 生涯学習・生涯スポーツの推進

3-4-2 生涯スポーツの推進

【備考】

目指すべきまちの姿

『生涯学習』からはじまる豊かな人生「つどう」「まなぶ」「むすぶ」

現況と課題

- ① スポーツレクリエーションクラブの充実と人材育成
- ② 施設整備等の充実
- ③ スポーツツーリズムの推進
- ④ eスポーツによる健康づくりの推進

取組

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
① 養成講座・講習会	回/年	2	4	養成講座や講習会の実施
② 公共施設予約システムによる利用申請率	%	0.0	30.0	利用申請の中で、システムを使用した申請率
③ スポーツ合宿誘致数	団体/年	3	5	
④ eスポーツの大会開催数	回/年	0	3	

5 前期基本計画

(3) 子どもも大人も成長する 育みのまち

3-5 文化・芸術の振興

3-5-1 文化・芸術の推進

目指すべきまちの姿

「竹田らしさ」を彩ってきた文化を知る・守る・活かす

現況と課題

取組

- ① 音楽文化の継承・発展
- ② 美術文化の継承・発展
- ③ 身近な文化施設の充実・活用
- ④ 伝統文化・芸術の保存と担い手の育成

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	瀧廉太郎記念音楽祭の 出場校数	校	31	36	
②	「田能村竹田」先生をし のぶ美術祭の応募数	点	3,854	5,000	審査会出品数
③	竹田市総合文化ホール (グランツたけた)の来 館者数	人/年	61,392	74,000	来館者カウントシステ ムでの積上げ
④	竹田総合学院T S Gの 稼働率	%	81.3	80% 以上維持	(利用数) / (教室数)

【備考】

お手元の資料 P.74,75

5 前期基本計画

(3) 子どもも大人も成長する 育みのまち

3-5 文化・芸術の振興

3-5-2 文化財保護

【備考】

目指すべきまちの姿

「竹田らしさ」を彩ってきた文化を知る・守る・活かす

現況と課題

取組

- ① 文化財の調査研究の推進
- ② 文化財に関する情報発信と価値の共有
- ③ 文化財の適切な保存の推進
- ④ 未来の担い手づくり
- ⑤ 文化財を活用した交流と賑わいの創出

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	未指定文化財の調査件数	件	0	250	累計値…年間 50 件×5 年
②	刊行物等の発行件数と展示会・講演会・講座の実施件数	件	10	180	累計値…刊行物 5 展示会 6 講演会 1 講座 24=年間計 36 ×5 年
③	文化財の整備や修理等の実施件数	件	5	25	累計値…年間 5 件程度×5 年
④	子ども学芸員、市民学芸員、文化財ガイド等の育成人数	件	0	75	累計値…年間 15 名程度×5 年
⑤	城下町 5 施設の利用者数	人	63,649	100,000	岡城、歴文、旧竹、瀧廉、義美の 5 施設の年間実績

5 前期基本計画

(4) 誰もが快適に生活できる 安全・安心のまち

4-1 防災・減災対策の充実

4-1-1 防災・減災のまちづくり

目指すべきまちの姿

インクルーシブ（誰も取り残さない）防災

現況と課題

取組

- ① 防災対策の強化
- ② 防災情報伝達体制の整備
- ③ 消防力の強化
- ④ 救急法の普及
- ⑤ 治山治水事業の推進
- ⑥ 災害復旧の迅速化

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	防災士養成者数（延べ人数）	人	282	330	年間約 10 名ずつ増やしていくことを想定
②	情報伝達体制の多重化	-	-	多重化の実施	
③	防火水槽設置数	箇所	2	10	（R5～R9 の累計）
④	一般・普通救命講習受講者数	人	219	2,000	単年度
⑤	市営急傾斜地崩壊対策事業	箇所	5	8	
⑥	地籍調査事業進捗率	%	60.5	65.0	

【備考】

5 前期基本計画

(4) 誰もが快適に生活できる 安全・安心のまち

4-2 安全で快適なまちづくりの推進

4-2-1 計画的なまちづくりの推進

【備考】

目指すべきまちの姿

持続可能な移動サービスモデルの実現

現況と課題

取組

- ① デジタル社会の実現
- ② 中心市街地への都市機能の誘導
- ③ 歴史的な風情を残す城下町の町並みの保全
- ④ 計画的で持続可能な土地利用
- ⑤ 安心して生活できる住環境の整備

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	情報伝達体制の多重化	-	-	多重化の実施	
③	景観形成実施建物の累積件数	件	7	15	竹田市歴史的街並み景観形成補助金交付件数
⑤	公営住宅の長寿命化	戸	30	118	社会資本整備総合交付金

5 前期基本計画

(4) 誰もが快適に生活できる 安全・安心のまち

4-2 安全で快適なまちづくりの推進

4-2-2 公共交通の充実

目指すべきまちの姿

持続可能な移動サービスモデルの実現

現況と課題

取組

- ① 利便性の向上
- ② 観光来訪者や定住の促進
- ③ 移動サービスの持続性向上
- ④ 公共交通サービスの最適化

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	高齢者の公共交通利用率	%	16.1	20.0	アンケート調査
②	再編路線、エリア及び実証 運行数	路線	10	12	実績からの積算
③	住民1人あたりの公共交 通に対する財政負担額	円/人	2,968	2,500	委託料、補助金、人口 から算出
④	公共交通の利用者数	人	38,644	41,980	利用者実績の積算

【備考】

③④委員からの意見

今後の重要度では交通の問題が高いポイントになっていることを確認した。現在の形の交通は10年後にはなくなっていると予想される。運転手が高齢化によっていなくなることに加えて、運転を生業にしようと希望する若者は殆どいない。公共交通の在り方を根本から考え直さないといけない段階に来ている。

子どもの利用促進

- ・料金施策により利用しやすい環境を提供。
- ・市内高校への接続を維持するだけでなく利用促進を行います。

地元向けの利用促進

- ・料金施策により利用しやすい環境を提供。
- ・デマンドによるバス停までの移動手段の提供や地域コミュニティと連携した新たな移動手段の提供に取り組む。

(地域の移動を地域で考える意識の醸成)

5 前期基本計画

(4) 誰もが快適に生活できる 安全・安心のまち

4-3 道路と上水道及び下水道の整備

4-3-1 道路の整備

目指すべきまちの姿

安全なインフラを整備し、市民が便利で快適に住み続けることができるまち

【備考】

現況と課題

- ① 国・県道の整備
- ② 市道の整備と維持・管理

取組

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
② 道路改良率	%	63.8	70.0	

5 前期基本計画

(4) 誰もが快適に生活できる 安全・安心のまち

4-3 道路と上水道及び下水道の整備

4-3-2 健全な上下水道経営

目指すべきまちの姿

安全なインフラを整備し、市民が便利で快適に住み続けることができるまち

現況と課題

① 上水道事業と簡易水道事業の経営環境

② 農業集落排水事業の経営環境

取組

③ 浄化槽整備推進事業の経営環境

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	経営収支比率（上水）	%	112.4 (R3)		水道事業決算報告書による
②	有収率	%	61.95 (R3)		水道事業決算報告書による
③	農業集落排水施設使用料の徴収率	%	99.76	99.80	決算書
④	浄化槽使用料の徴収率	%	99.60	99.70	決算書

【備考】

5 前期基本計画

(4) 誰もが快適に生活できる 安全・安心のまち

4-3 道路と上水道及び下水道の整備

4-3-3 上下水道施設の整備

目指すべきまちの姿

安全なインフラを整備し、市民が便利で快適に住み続けることができるまち

【備考】

現況と課題

取組

達成目標

- ① 鉛製給水管の更新
- ② 主要施設の耐震化
- ③ 農業集落排水処理施設の整備更新
- ④ 合併処理浄化槽の整備更新
- ⑤ 簡易水道事業の整備が困難な水道未普及地域

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定あるいは取得の方法
① 鉛製給水管残存延長	m	8,412.9	7,912.8	鉛給水管残存延長-100(過去減少数中央値)×5
② 配水池耐震施設率	%	31.3	54.5	耐震対策済配水池有効容量/配水池等有効容量×100
② 耐震管率(上水)	%	24.0	30.3	実績値+(100-実績値)/60(法定耐用年数×1.5)×5
③ 農業集落排水処理施設の長寿命化改修	施設数	1.0	2.0	公共施設整備計画改修工事の実績
④ 合併処理浄化槽の整備促進	基数	80.0	80.0	循環型社会形成推進地域計画
⑤ 申請/対応=100%を維持(要件クリアしたもののみ)	%	100	100	

5 前期基本計画

(4) 誰もが快適に生活できる 安全・安心のまち

4-4 交通安全・防犯対策の推進

4-4-1 交通安全・防犯対策の推進

目指すべきまちの姿

事故や犯罪のない安心して暮らせる環境

【備考】

現況と課題

- ① 交通安全対策
- ② 防犯対策

取組

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	交通事故死亡者数	人	0	0	交通白書(年) (交通安全協会竹田支部)
②	市内の犯罪発生数	件	44	0	大分県の犯罪概況(年) (竹田警察署)

5 前期基本計画

(5) 自然とともに暮らしを愉しむ エコのまち

5-1 自然に親しむ空間づくりの推進

5-1-1 自然に親しむ空間整備の推進

目指すべきまちの姿

自然や歴史と市民の暮らしが調和し、共生するまち

【備考】

現況と課題

- ① 玉来川かわまちづくり
- ② 自然環境・景観の保全
- ③ 公園緑地の整備

取組

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	都市公園利用者の 事故件数	件	0	0	事故報告数

5 前期基本計画

(5) 自然とともに暮らしを愉しむ エコのまち

5-2 循環型社会の構築

5-2-1 環境衛生の推進

【備考】

目指すべきまちの姿

循環型社会が進むまちづくり

現況と課題

取組

- ① 循環型社会の構築
- ② 廃棄物対策
- ③ 汚水処理対策の推進
- ④ 公衆衛生の推進
- ⑤ 内水面漁業の振興

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	ごみの排出量(家庭系ごみ)	t	4,452.0	3,764.0	大分ブロック地域循環型社会形成推進地域計画より
②	再利用量(総資源化量)	t	960.0	733.0	〃
⑤	稚魚等放流事業	千円	200.0	200.0	稚魚等放流事業

お手元の資料 P.94,95

5 前期基本計画

(5) 自然とともに暮らしを愉しむ エコのまち

5-3 良好な地域環境の保全

5-3-1 環境保全の推進

目指すべきまちの姿

自然と共存する住みやすい里づくり

【備考】

④委員からの意見

野焼きが出来ない範囲が増えると原野化してしまう。自然環境を維持するための営みにもフォーカスしていただけると良い。

現況と課題

取組

- ① 自然環境及び景観の保全
- ② 環境教育の推進
- ③ 再生可能エネルギーの推進
- ④ 農観連携による久住高原の景観維持
- ⑤ 温泉の保護

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	環境基本計画の策定	-	-	策定	
②	不法投棄発生件数	件	15	10	県の提出書類？
③	温室ガス削減排出量削減 (二酸化炭素換算値)	t CO ₂	5,434	4,150	竹田市事務編における CO ₂ 排出実績報告

5 前期基本計画

(6) 堅実財政で未来へ投資する 持続可能なまち

6-1 協働によるまちづくりの推進

6-1-1 市民参加・公民連携の促進

【備考】

目指すべきまちの姿

住み続けたいと思う、持続可能なコミュニティ

現況と課題

取組

- ① 市政への住民参画
- ② 自治会活動の維持
- ③ 地域コミュニティの形成
- ④ 企業・大学など多様な主体との連携

達成目標

指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定あるいは 取得の方法
① 市民アンケート調査	%	40.9	60.0	有効回収率 (後期基本計画策定時)
② 自治会統合助成金	件	1	4	助成自治会数 (R5～R9の累計)
③ 地域コミュニティ	組織	1	3	形成取組支援数 (R9までの累計)
④ 連携協定	件	3	5	締結した連携協定数 (R5～R9の累計)

5 前期基本計画

(6) 堅実財政で未来へ投資する 持続可能なまち

6-2 人権意識の高揚

6-2-1 人権意識の高揚

目指すべきまちの姿

市民一人ひとりがお互いの人権を尊重し、いきいきと幸せに暮らせる
まち

現況と課題

- ① 人権教育・啓発の取組
- ② 男女共同参画社会の推進

取組

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定ある いは取得の方法
①	人権が尊重されている と思う人の割合	%	R1 年度 73.4%	80%	市民意識調査
②	審議会等（法に基づく） における女性委員の割合	%	R3 年度 23.5%	30%	市民意識調査

【備考】

お手元の資料 P.100,101

5 前期基本計画

(6) 堅実財政で未来へ投資する 持続可能なまち

6-3-1 健全な行財政運営

6-3-1 健全な行財政運営

【備考】

目指すべきまちの姿

堅実な行財政運営で持続可能なまち

現況と課題

取組

- ① 持続可能な財政運営
- ② 公共施設マネジメントの推進
- ③ 人材育成及び適正な行政組織の確立
- ④ デジタル化による業務効率化とサービスの充実

達成目標

	指標名	単位	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)	目標指標の測定あるいは取得 の方法
①	財政調整基金残高	%	33.7	10%以上	標準財政規模の10%以上の維持
②	ふるさと納税寄附金による歳入	千円	538,328	1,000,000	100,000 千円/年の増加を目標とする。
③	公有財産の有効活用件数	件	7件	50件	公有財産の利活用、普通財産処分の5年間の累計件数
④	市税(一般会計)収納率	%	97.22	98.00	市税等徴収実績報告書
④	マイナンバーカードの普及	%	47.0	90.0	マイナンバーカード交付率

1 10のリーディング施策

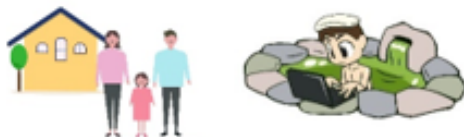
リーディング施策は、人口減少が進む本市として、この現状にあらがう施策と、人口減少時代に合わせていく施策です。各分野横断的に取り組む必要性の高い施策が多く、市内において連携して取り組むとともに、前期基本計画の5年間で具体的に検討・準備・実施に向けて取り組んでいくこととします。

【備考】

(6) 人口減少時代に“あらがう”施策

その1 ワークेशनと移住支援

アクセスのよくなる交通網と温泉や風光明媚な自然環境を活かした観光地として、ワークेशनを推進し、訪れた人たちが関係人口にとどまらず、移住につなげていくような仕掛けを講じていきます。



その2 自立生活促す健康づくり

スマートウォッチやスマホアプリなどを活用し、ウォーキングや健康状態の確認が行えるようなツールを積極的に活用し、市民の健康力向上を支援します。また、市内企業従業員等も対象にし、働く世代の健康づくりを支援します。



その3 新たな企業誘致

半農半Xやテレワーク+αの仕事など、働き方が多様化しています。従来の常識にとらわれず、遊休施設の活用や空き店舗の活用などを推進し、通信インフラの整備等を行いながら、広大な土地などが不要な新しい企業誘致を推進します。



その4 子育てしやすい環境づくり

少子化対策は関係機関と歩調を併せて取り組んでいきます。国の調査では、理想の子どもを持たない理由として「子育てや教育にお金がかかる」と回答した人が多くなっています。共働き世帯が増加し、保育のニーズや就学後の過ごせる場のニーズが高まっています。子育てと仕事が両立できる環境整備や子育て世帯の生活の安定や子どもの貧困対策に取り組んでいきます。

その5 リカレントとリスキリング

リカレント(学びなおし)とリスキリング(「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する/させること」)を推進できる環境を整備し、文化の薫りのする、新しい産業が内発される地域を目指します。



1 10のリーディング施策

(6) 人口減少時代に“あらがう”施策

その1 廃校の活用

少子化に伴う学校統廃合を進めるとともに、廃校の活用方法を検討します。近年では廃校の活用に関する好事例が数多くあり、こうした事例調査を行うとともに、“あらがう”施策への活用も視野に入れつつ、地域とともに施設の有効活用を図ります。



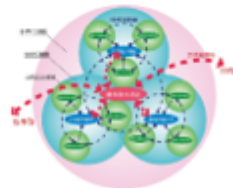
その2 インフラの強靱化とリサイズ

道路・水道や公共施設等のインフラについては、老朽化が進んでいます。自然災害に強いインフラに更新していくことが必要で、こうした市民生活を支える重要な取組を計画的に実行していきます。また、人口減少に合わせたインフラのリサイズについても検討します。



その3 竹田型コンパクトシティ

「竹田市都市計画マスタープラン」では、“竹田型コンパクトシティの実現”を目指しています。3種類の拠点地区とそれを結び付けるネットワークを構築し、誰もが暮らしやすい生活が送れる利便性の高い都市づくりを推進します。



その4 行財政改革

行財政改革では、削減や節約などコストを抑制することはもとより、ふるさと納税や資産運用などを積極的に推進します。また、税収増に向け地域産業がもたらげる仕組みを関係者と協力して検討し、支援します。今後デジタル化や成熟社会において、経験と新しい発想を融合し、時代にふさわしい人材育成に力を入れていきます。



その5 公共交通の改革

高齢者の運転免許の返納が増加する中、公共交通の利便性は定住のための重要な要素となっています。単なる人の移動手段にとどまらず、医療や農業、観光など、多様な目的と連携させて、利用しやすい環境をデジタル化技術等を活用しながら構築していきます。

交通×MaaS×OO

課題解決による持続可能な社会へ

【備考】

今後のスケジュール

第3回竹田市総合計画審議会	令和5年2月3日(金) 【本庁3階会議室】
パブリックコメント	令和5年2月7日(火) から 2月20日(月)
議会説明	令和5年2月24日(金)
庁議・策定プロジェクト会議	令和5年2月27日(月) ※定例課長会終了後
第4回竹田市総合計画審議会	令和5年3月2日(木) 【グランツたけた（キナーレ）】



第2次竹田市総合計画（素案）

総合計画は、市の将来像や、まちづくりの目標などを示す最上位計画です。
パブリックコメントとは、市が政策や制度を決める際、最終決定前に案を公表し、広く市民の皆さまから意見を募ることにより、市民の市政参加を促進し決定するしくみのことです。

対象者

市内に住所を有する方、市内に在勤・在学の方、市に納税義務を有する方

募集期間

2月7日(火) から 2月20日(月)

閲覧場所

総合政策課（本庁2階）、各支所市民係、竹田市公式ホームページ

提出方法

指定用紙に意見を記入し、提出してください。

お問合せ

総合政策課 政策推進係

mail : seisaku@city.taketa.lg.jp

TEL : 0974-63-4801 FAX : 0974-63-0995

